

# 人夫出しの儲け

これが計算していろオカシの高價があつたと申めざるを得ない。

醉っぱらって書き送ったとは云え、あかし工文書がそのまま「済せ」に載ってしまった。やけくそついでに入夫出しが儲けについて、今少し考えてみたり。

紀州産茶が五五〇円の頃、これはええ値段に思つて行った事があるが、居れどはつりとつんし、やはりの電車便をつりどうなんだ。

飯塚にあかえにキタオヤジが、「あんたらに七千円を払つては合わんが、いそがしい時はしゃあない」とはやいていた。このオヤツサンのボヤキが本当だとすると、土方さんから送りむかえなしの被徴段は七千円といふ事になる。

本組へ行つた時モ、土方は七千円、笠置チ二元はハチ五百円で出していゝと歸つたことがある。四千五百円の土方さんからモ、六千五百円から七千円はでてるだうかと聞いた事がある。

土方の掲示牌で七千円、というのは一つの相場であるらしい。それが四千五百円、四千七百円という「次の出る様な低價金」に化けるのは、「それもこれも皆んな天出く屋のみ屋で」ときわざうを解なり。

わしゃ、べつに赤旆はねえやない。

しかし、それがたなびかざる赤旆ないはと人夫出しの収奪がはげしに事は認めざる天道なり。

詫は先にも、「うだ、親せきを謀のばる、七千円引く五千五百円、算りチ五百円が「やや抜け」になる。」これは三十人位しかねえていられない才で、一日四万五千円、月間二十五日で百十二万五千円が粗利益にならう。「これに重ねると付いて儲けになる。

夫婦二人、ライトバン二台、電動二台の高級とここは上等である。

立かされるのは「アンフさん」である。釜にはワルが描つていろのかもしらんか、ワルの上をいくワルが人天出し屋さんである。

先ちに、宮本鉄筋が出し直七千五百円と書き送つたが、ハーネのほか、宮本鉄筋工業の勢地と飯塚を借りつけた、もと畠舎の矢野亮一さんか、身内の宮本鉄筋、宮本鉄筋工業、宮本建設工業に出してしる直段で、一般性がないからボツにしてくれと軽んじたのとそのまま解つてしまつた。責任上、事実關係だけ言わしてくれ。

工務店でもなりのに白川工務店といふ人の天出しが新大阪にマンションを始めているなどうだし、大正のケタオチ代表、中山建設モロアラタヒーの駐車場の横に大きなビルを建設中であります。但し、飯塚の会社には日本はおりません。料金代は六〇円でした。

一五〇円の「ねーまた、お当」といつても、普通せ間の人に仕立ててもらえないかそこかなかが、これが又か

り通つてゐるが日本、西成、谷ヶ崎で可。

「見撃てられた人々といふとモ

やけり・吉はほしい」

金筋宏好

人夫出しことよく似た前を、調理師監修所とか、クリーニング取扱人、理美容院、ファーマシー、モデル室の紹介  
がある。ここれらはサムライ大工の認可がいる。飲食店なら保健所・建物等の許可がいる。飲食店として免許を取った人夫出しが、一ビルを二五〇円で賃された  
事は多くあつても、飲食店の許可はあるのは見た事  
がない。

本名前を聞きもらいた某人が出しき、彼女先の一つ山口總業の組があり、いつも出しありよく押さえられていた。  
佐々木大工がハチ千五百円時に一万円だったそつた。  
ところがあの日、どうして十九千円では人夫出しが  
仕方なくその店は急きよ一万円にして人夫せめ、後から  
重ねて泣きついでようやく出しあり一万一千円にしても  
らつたといふ。

本中山から同邊に木を積えにいつた人は極木屋の御方に  
へづりあれた。  
「あんた、五千円で來てうかそやつんやど、ワシャセ  
千五百円ねうど。だから一本三〇円として二五〇本は  
積えどもらわな因る。どのかわり二五〇本以上につりて  
は一本二〇円の割であつてけるわ」  
そく車に積りに地下五尺とけいて、やいてはりと、御机り屋  
の本寄に会つて、「ね、おやあたんか、とおやつたらう  
だにこい、七千五百円やで、仕事は老人仕事で身体のた  
めにはええど。」

（ヤ）

まだがん夫出し屋が運営と見るが、一の建物の  
の許可はさうもきたことがない。もしこれシノウ許可証が  
あるのなつ表看板にかかるべしとい。  
彼はもとつくりーング屋だったので、このサードのスク  
エアカラーベンの夫出しひきの事と異ひて、  
もうろん労働大工の認可がいろし、無許可で営業して捕  
まる山、一般労働などに認可が取つたことをあつた。  
人手がなんらかの事情でたりない限り入ケットに行  
て、岸原商人が日給ハチ千円とすると、スケ取は仕事が能  
いると一万一千円をしこ徳の重慶屋を預金でもらつ。  
浅澤屋の看板で、胡麻所の三食は免たで食へなくてモ  
ウ、酒も必ず出る。

但し、既に中古工は所屬する機関所に預金の一割を  
取られる。ピンハネ一割が合法かどうか、法律非才の事  
では解がじめが、これが相場である。  
事業主側は岸原より高い賃金を払つて居りである。

人夫出しことよく似た前を、調理師監修所とか、クリ

ーニング取扱人、理美容院、ファーマシー、モデル室の紹介

がある。ここれらはサムライ大工の認可がいる。飲

食店なら保健所・建物等の許可がいる。飲食店として免許を取つた人夫出しが、一

ビルを二五〇円で賃された事は多くあつても、飲食店の許可はあるのは見た事

がない。

まだがん夫出しが運営と見るが、一の建物の

の許可はさうもきたことがない。もしこれシノウ許可証が

あるのなつ表看板にかかるべしとい。

彼はもとつくりーング屋だったので、このサードのスク

エアカラーベンの夫出しひきの事と異ひて、

もうろん労働大工の認可がいろし、無許可で営業して捕

まる山、一般労働などに認可が取つたことをあつた。

人手がなんらかの事情でたりない限り入ケットに行

て、岸原商人が日給ハチ千円とすると、スケ取は仕事が能

いると一万一千円をしこ徳の重慶屋を預金でもらつ。

浅澤屋の看板で、胡麻所の三食は免たで食へなくてモ

ウ、酒も必ず出る。

但し、既に中古工は所屬する機関所に預金の一割を

取られる。ピンハネ一割が合法かどうか、法律非才の事

では解がじめが、これが相場である。

事業主側は岸原より高い賃金を払つて居りである。

り通つてゐるが日本、西成、谷ヶ崎で可。

「見撃てられた人々といふとモ

やけり・吉はほしい」

金筋宏好

人夫出しことよく似た前を、調理師監修所とか、クリ

ーニング取扱人、理美容院、ファーマシー、モデル室の紹介

がある。ここれらはサムライ大工の認可がいる。飲

食店なら保健所・建物等の許可がいる。飲食店として免許を取つた人夫出しが、一

ビルを二五〇円で賃された事は多くあつても、飲食店の許可はあるのは見た事

がない。

まだがん夫出しが運営と見るが、一の建物の

の許可はさうもきたことがない。もしこれシノウ許可証が

あるのなつ表看板にかかるべしとい。

彼はもとつくりーング屋だったので、このサードのスク

エアカラーベンの夫出しひきの事と異ひて、

もうろん労働大工の認可がいろし、無許可で営業して捕

まる山、一般労働などに認可が取つたことをあつた。

人手がなんらかの事情でたりない限り入ケットに行

て、岸原商人が日給ハチ千円とすると、スケ取は仕事が能

いいると一万一千円をしこ徳の重慶屋を預金でもらつ。

浅澤屋の看板で、胡麻所の三食は免たで食へなくてモ

ウ、酒も必ず出る。

但し、既に中古工は所屬する機関所に預金の一割を

取られる。ピンハネ一割が合法かどうか、法律非才の事

では解がじめが、これが相場である。

事業主側は岸原より高い賃金を払つて居りである。

# 新聞切り抜き

## 死亡

身「花田詔」名義の箇、因書を持てた二〇〇回。

オの男の人。京之庄屋一丁目の路上で背中を刺されて死亡。(名・朝)

茅ヶ木市太字佐保、通称元虎の田んぼの行小屋から出火。

一・六五メートルぐらの内、三五〇三六〇、六六

ニ色作業着の男の人焼死。(名・朝・テ)

四〇午後一時半、花園北一丁目の五路工事現場の作業用たまりたれ近くで、中年の男の人が死んでいるのを発見。リスト引ひスモ同会のパトロール馬がつけ

西成郡に運びこむ。(名・朝)

午後合江インター西側斜上で常勝吾士がケンカ、立ち下

定・次田アキラしてん、二〇・四〇オ、果物ナイフで

脇を刺され、出血多量で死亡。刺した直後で死んでいた。

性別不定、曰くいはゆるさん(?)は握る。(名・朝)

須田さんは、良輔さんら四人とセント近くの路

上をうイスキーと飲んでいたが、飲み終わってあと、良

輔さんと二人で「別の所に飲みに行こう」と出掛け途

中、須田さんが路上にいた人避けとげしたといい、西成

署はけとげされた男が脇をたてて刺したとみていう。な

お、良輔さんと組んだのは土木作業者のる・良輔さん。

(名・朝)

二月四日午後四時ごろ、アルドーザーが押し倒してアロソ

ベイの下敷になつて石川早雲を打出身、住所不定、母ノ内住坂井某(日暮)いける・娘(山田喜助さん(七))死だ。ブル毛亞種していた場、内建設作業員へ西坂井を

・説きしりさんね。(どうしくなつて死体を工場建物の壁破壊起して跡の穴に埋めたが、九日、協ノ内建設社長につきわれて自殺。(名・朝)

牛西成桜社事務所頭で、今年に入つて二月一五日までの行路死亡は一人。(名・朝・テ)

本二五才前後、一・六二メートル、短のショパンにケイ

クグレーの作業着、スポーツシニアズの男性、因似深状

独居うちの軒外回りホーム(西側)で、電車に轢び込み即死。(名・朝)

牛神戸市・砂利採取業、甲隆産業会社の砂利採取現場

で、濱砂地南側の作業用道路になつて川の堤防部分が長

さ二ナメートルにわたつて決壊、土砂混じりの濁水流

り配約四五度の急斜面を伝い山岸沿岸になつて流出、

約三〇メートル下の山田川に流れ込んだ。

内「モロ下流の川底で上多間枕のまけぬえ工事として

いた新井組(本社、兵庫県西宮市池田町)の下請け、垂

水区西畠子五の丸の二二・松本組の作業員七人のうち、

右岸付近で裏壁工事中の筒本景生(三)、松坂実さん(五三

と大分景生(三)、下田裕さん(二)の一人が裏壁にのせ込

まれ、漬されて死亡。(名・朝)

二人は事故があつた日の朝、神戸新聞地元通報がスビ

ル前から、手配師の口元で雇われた。(名・朝)

本門真市上野新土木作業場堤原一也(いわい)さんの方から出で、  
堤さん専属。堤さんは昨年末、妻と別居して一人暮らしだ。  
電気代の遅納で前日、配電を止められ、表六疊間に口づ  
ソクをつけていた。これが倒れ、燃え広がったらしい。

(シル・第一)

本國鉄大坂環状線新橋駅外回りホーム東端から初老の  
男の人が電車に飛び込み即死。(えり、ゆ、タ)

本府西区の国鉄環状線高架下のあき地で、六〇歳前後、  
身長一六〇センチ、頭は白髪であったが長く、白のズ  
ボン・紺のジーンズ姿の男の人、死後約三ヶ月たって発  
見される。(シル・タ)

三面記事 第二日一二日、大阪ミナミの「虹のまち」で  
洋品店員のハントバンから財布をこごう  
とした四才の男児が高層に保護されよう。連絡で引き取り  
に現われた父親は、昨年秋、群馬県から奈良空港でなる  
手離れていることが判明され、男児は室内で  
ハグチし、うかし、シャドを落としながら走り回り、  
黒髪をばかせていた。(シル・タ) 西宮区内のアパート  
をやまとおなづらはん(いん)とぼきおぼえたらしい。(タ  
カ)

二月四日、西宮中川タクシーから現金五千円入り札  
ハンモックで西宮住民(ゆめみん)。(タカ)

二月九日、女院(めいん)で生駒(いこま)の三万八千円入りの財布を  
ローザ・クラーク(ロザ・クラーク)にて「取扱へた」(これと、他の  
言ふ事天井下あたりのホテルに行こうとしたが、運転手  
に困り、西宮(にしのみや)で止まることなく、(タカ)

本区西センターで、男のオムツをまだ入だした子供(こども)  
院内に衣類(いりょう)に困り、看護婦(かんごふ)さん(おおまち)が  
ていうとじうおも同じて千里(さるひ)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ー  
ル(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ーク(く)ー  
トした。(タカ・第二)

本二人の死亡者(じゆうしゃ)を出した神戸木更津区の木更津工事  
現場(かばく)のガス管(がすかん)工事(こうじ)から一日(いちにち)で一年。被災作業員(ひさいざぎん)の一〇  
人には補修金(ほしゅきん)を支(し)けられず、中には労災保険(ろうさいほけん)の適用(うyōyō)を受  
けられぬまま喰(く)むに至(いた)しんでいた。人たちは、この  
ほど初夏(しょか)作業員(さぎん)の兄弟(いとう)二人が神戸地検(じけん)に「一日(いちにち)で事故  
死(しび)を防(ま)ぐを期(まね)かにしてほし」と訴(うなが)えた。

兄弟(いとう)は、元掛けの五箇組(ごくみく)(本社、生田(なにた)区の下で工事を  
分担(ぶさん)した三つの建設会社のうちの二木建設(にいせき)、本社、西宮(にしのみや)区の下り、年齢(ねりょう)二十九歳(とよとせ)、兄弟(いとう)の兄(いとこ)又(また)は正義(まさよし)さん(まこと)が二十九歳(とよとせ)、弟(いとこ)として協力(きりょく)した瀬(せ)の十(じゆ)止(し)め鋼板(こうばん)の取り外しをしてい  
て床(ゆか)に落ちた。

本該(ほさい)事件(じけん)は親会社(しんかいしゃ)三木(みき)と会(あい)に工事(こうじ)が危(あや)め  
ではなく、娘(むすめ)三人(さん)は九千円(こせんえん)の日給(じきゆう)で二木建設(にいせき)に雇(うけ)られ  
たが、娘(むすめ)たたか(タタカ)。(シル・第二)

本店の衣裳(いじょう)問屋(もんや)の内(うち)に一(ひと)と大(おお)幅(はば)の生(なま)財(ざい)物(もの)  
は九日(くわんじつ)、大阪駅(おおさかえき)周辺(しゆへん)の洋服(ようふく)店(みせ)は競争(きやうきやう)を取(と)り合(あ)は  
り広(ひろ)い、女(めの)抱(いだ)き一人(ひとり)をゆきした。(タカ)

本二月(じゆ)一一日(いちじつ)午前(ごぜん)一(ひと)時(じ)五(ご)分(ふん)三(さん)、天王寺公園(てんのうじこうえん)内(うち)に  
お置(おき)つた四(よん)人(じん)姉(あね)に「たま(たま)くわ(くわ)」と名(な)づけられ、こ  
とわつたところ、なれて「うの(うの)かし」と名(な)づかれて、上(うえ)、阪(はん)神(じん)電(でん)車(しゃ)、

回計とライターを引かれる。午後零時一五分ごろ、迅速

軍事境界派出所で手配によく似た三人組の職務範囲で

車、船行を認めて乗捕される。追跡されたのは住所不定

連絡作業員Mさん(三二)、同Yさん(三一)、月、〇さん(三

そ一人は三七くハオ、やはり運送作業員で、乗船に

区で知りあつたといり。(名、該)

廿二日一六日、羽曳野市大黒、共安土不会社の住み込み

鉄筋工Yさん(三四)の長女丁ちゃん(田オ)殺され。

弟十木の現場監督が廿日当四千八百円、一〇日間を約

で雇つた元人の内の一人、トさんが手配される。

一七日、鹿児島生まれ、住所不詳、土木作業員大さん

(三五)、宇治市内の宇佐町成田場で、金井組のマイクロ

バスから降りたところを逮捕される。(名、該)

トが住み込んだりした結果土木の宿舎は二階建てのアレ

ハフ。大部屋には、汚汚れた万年床があり、西刊詔が散

乱、作業服をかける洗たくヒモが頭の上に。一日の内体

勞働を終え、翻糞のような折詰めの名食をかき込みれば、

あとは寝床に入つて、部屋のすみにあるテレビに目をや

る外、自動販売機で買つてきたコップや酒呑があるだけ。

山台アルスとのままのような生活だ。(名、該)

「そんなたひどいところなかつたすよ。エロ電話つ

ていつても普通の店であつてうものだしさ、ワンカソフ

のピンガゴロゴロしてゐるもの、友、水と飲むコッアの仲

りたおいてあるのよ。だいたいあす一室のやじで酒

が、月ごく入院中の土木女作業員さんを刺す。トさんが

気圧外出し、頭を包んではつてきた方に向し、〇さんが

「我氣にさわる」と注意したのが原因。(名、該)

本伊丹木中ね区の倉庫で倒りて倒りていたトさん(三

五)は日当が減つていると元の主と交渉したがつすでにえ

まい百メートルといわれたのに腰を立て、飯塙に向つたキ

オノ召さげたキミ大阪空港へ化西線の全通を手り越えて

帰へ、航空法違反で逮捕される。(名、該)

本多庄島すずき通運営業本丸分駆除事務所に、豊

水区伊川谷町別府、運送作業員Aさん(三一)がツルハシと

大型ハンマーを持つてなくなりぬけ、投人未遂で逮捕され

る。Aさんは第二神明通路引治橋に住んでおり、深夜

の自転車の轟音、パトカーがマイナス走行中の車に警告する音がうるさいといつており、一ヵ月ほど前にも月分賃料にマイクの音がうるさい」と苦情をつき、てつる(名、該)

本多庄島生まし、は吉子定、建設作業員、Hさん(三二)、

國鉄片断路住道駅前で酒呑みなど、通りかかったEさん(三五)のパケケをひいたくり引けた後、香水アレーチーをかゝれて逃げたが、このあたりでTさん(三一)に紹介伏せられ

百メートル(名、該)

自分自身の住んでいたる社宅に火をつけたトさん、ヤケ酒呑んだあと水と西宮駅に向き、社宅は木戸尾久庄(引付)さん(三五)、内住野区たかで焼てて、「名、該」

木戸尾久庄と東京と東京と山の根にシースンオフの別荘地をかづつて全国を回り歩脚して日本をいたる。

せゆに、あのオフクロがまたいいんだ、子供のこと自然とかまらないんだからね。だから、子供、とのて、くほんんだよ、よくあんなのと手を出した、なんてみんなでさうしてたぐりよ。

少々やつあたり気はなどいろがあるが、ロトを多く犯罪に走られた遠次在実業家の一画の宝殿とだとかり路上で拾われようとにしてさわれた。レトとがまかりたことは、考から空へて、生家土木の物語に行つたこと、かどりというアニー。別に修復が天國だ、と見てうかげではなく、ケコオチケモウ、上でなれ、そこで生活するもへとしてケニミシシリウド、

本一六日、芦城祭原庄左の路上で、千葉の警が行人、死体遺棄の疑いで連捕し現場検査に立ち会わせていた千葉県香取郡、土木業者(労働者)せん業(日東鉄業)社長、今、ターキーの夫(妻)が殺害のまま立て逃走。菅谷は、昨年二月から三月にかけて菅谷のことで倒立とされ、計画的にさめさせられたが、利根川河川敷に捨てた。保険金の受取人ケ菅谷(一の保険は、かけられただが殺されただらともせず)と云ふことになっていた。

老舗上京院三院の脇を下り、入にカリ土木専門をトさん(名、該)

が建設機械の効率化不足に恵方防砂用の中川建設会社約半立地で直撃が少なくてとび胸Dさん(三二)捕まる。なお、Dさんは重テ、山の山田庄で、住所不定、無職に、船伊丹木中ね区の倉庫で倒りて倒りていたトさん(三五)を殺したらしいとけられていこ(名、該)

キスリで二年間の懲役を科えて刑務所を出たばかりのWさん(三五)、二年間の仕事は三十六万円を三月以内の間に上げてきていたとぐりサ君(西岡)は「一応」と、その間に者へ大阪、尼崎、西宮の建設、土木会社など一四法人の代昂シ一ラ計二〇人ガ、上庄で隣住は被かづな(平野)の切替を清掃に則する法律を反対して神戸港にまで立派にされた。(名、該)

や空中の「バルテノン桜山台」建設工事現場で、住まガウルハシアグス等に火を付けて、浪お工事の火石が引火して火事(火災)が起り、火柱が上がる。(名、該)

火は、炎詠か。悲劇や方いか。どうとがつやうか。